

街はひとつのテキストである

都市を歩きながら、人はただその表層を眺めるのではない。文献を通じ、想像力を通じ、他者の記憶を通じて、その街角の異なる相貌を幻視してもいる。

テキストとしての都市  
メキシコDF

柳原孝敦【著】

四六判変型・並製・272頁・定価：本体1900円＋税

ボラーニョ、オクタビオ・パス、ガルシア＝マルケス、バルガス＝リョサ、ブニユエル、エイゼンシュテイン、ディエゴ・リベラ、トロツキー、バスコンセロス、アルフォンソ・レイエス、ベルナル・ディーアス、大江健三郎、鶴見俊輔、野谷文昭……、ありとある幾多の文献・映像資料を縦横に渉猟しながら、メキシコDFに迷い込む。

深層に息づく声たちによって立ちあがる新しい風景。時空を超える紀行文学的都市論！

■ 柳原孝敦（やなぎはら たかあつ）

1963年鹿児島県名瀬市（現・奄美市）生まれ。東京外国語大学大学院博士後期課程満期退学。博士（文学）。現在、東京大学大学院人文社会系研究科教授。著書に『ラテンアメリカ主義のレトリック』（エディマン／新宿書房、2007）、『映画に学ぶスペイン語』（東洋書店、2010）。訳書にアレホ・カルペンティエール『春の祭典』（国書刊行会、2001）、フィデル・カストロ『チェ・ゲバラの記憶』（監訳、トランスワールドジャパン、2008）、ロベルト・ボラーニョ『野生の探偵たち』（共訳、白水社、2010）、『第三帝国』（白水社、2016）、カルロス・バルマセーダ『ブエノスアイレス食堂』（白水社、2011）、セサル・アイラ『文学会議』（新潮社、2015）、ファン・ガブリエル・バスケス『物が落ちる音』（松籟社、2016）、ほか多数。



ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			柳原孝敦【著】 テキストとしての都市 メキシコDF 四六判変型・並製・272頁・定価：本体1900円＋税
		冊	ISBN978-4-904575-78-9 C0095 ¥1900E

ご注文はJRCへ →FAX. 03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い